

社長挨拶



大豊工業株式会社
代表取締役社長

高橋清八

本年当社は63周年を迎えることができました。これまで支えていただいた多くの皆様に心から感謝申し上げます。この間、当社の変化は今さら言うまでもありませんが、経営環境での最大の変化は環境問題への企業の社会的責任の重さが増したことです。

地球温暖化・資源・大気汚染など地球環境をはじめとする諸問題への対応は自動車産業全体がかかえている課題そのものであり、これらの課題へのたゆめぬ対応努力があって、そして社会との調和がとれて初めて、持続的に発展可能なよい企業となれると考えております。

当社は長年に渡りトライボロジー(摩擦・摩耗・潤滑技術)を基幹の技術として、自動車のエンジンやトランスミッション、その他のすべてのすべり軸受や、特殊軸受をはじめそれらを活用した種々の製品を中心に事業展開をしてきました。製品面での環境への対応としては、エンジンベアリングや自動車用ブッシュでは従来は鉛(環境負荷物質)含有合金が使われていましたが、これらが使用禁止に向かうなか、当社は非常に難しいとされてきた鉛フリー化にいち早く取り組み、他社に先駆けてこれらの製品の鉛フリー化に成功いたしました。また、トライボロジー技術を生かした種々の低摩擦技術の活用により自動車の燃費改善、CO₂の削減にも貢献しております。

今後、自動車技術が進歩していくなかで、このような独自技術を更に進化させることにより、温暖化防止、大気汚染防止など環境にやさしい自動車開発に貢献し続ける所存です。同時に各生産工場、物流、調達、技術、関連会社、全ての分野において大豊グループとして、広く環境問題への対応に取り組んでまいります。

今後とも、当社の取り組みを皆様にご理解いただけるよう努めてまいりますので、忌憚ないご意見をいただければ幸いです。